～ごぎょうしょう～

五行象

●命の基本『陰陽五行』.....1

●自然としての陰陽.....2

●陰陽とはすべての大元.....2

●天地をあらわす陰陽.....5

●五行の起源.....6

●五行は自然の法則‥五行の成り立ち.....7
五行と季節
五行と方角
五行と時間

●五行の完成.....8
「土」･･･中央ってどこ？

●土用とは？.....9

●木火土金水‥木は樹木じゃない.....10

●五行は連想ゲームじゃない.....11
五行を英語で表すと？

●私たちのなかの五行.....12

●【木】の人ってどんな人？.....13

●【火】の人ってどんな人？.....16

●【土】の人ってどんな人？.....19

●【金】の人ってどんな人？.....21

●【水】の人ってどんな人？.....24

●十干の「陰陽」の違い.....26

●五行でわかることは
「生まれ持った気質・体質」.....29

●五行象®-ごぎょうしょう-とは.....29

●生年月日時と陰陽五行.....30
まずはじめに干支とは？
干支暦-かんしれき-とは？
身近にある干支-かんし-
生年月日時と干支暦
天地の陰陽と干支
蔵干とは？
五行の生と剋

●我が身を中心とした五行バランス.....34

●上下左右のタイプ.....35

●我が身の働き.....38

●漏気の働き.....40

●財気の働き.....42

●剋気の働き.....44

●相気の働き.....48

●我が身を中心にした基本.....48
トの字で基本的な特徴をみる

●五行の生と剋でバランスを絞る.....50
相生
相剋
十干の生剋
ここまでをまとめると
生剋で分かること

●もっと詳しくみると.....54

●かんたん開運法.....56

●それぞれの定位.....58
親の定位が表すこと
社会の定位が表すこと
我が身／配偶者の定位が表すこと
晩年の定位が表すこと

●それぞれの定位と「五行象」.....60

●陰陽から相性を知る.....67

●恋愛・結婚生活の傾向を知る.....68
配偶者の定位が「我が身と同じ五行」
配偶者の定位が「漏気」
配偶者の定位が「財気」
配偶者の定位が「剋気」
配偶者の定位が「相気」

●我が身からみる五行の相性.....73

●運気の巡り「年運を知る」.....78
我が身と同じ五行が巡る時期は？
漏気が巡る時期は？
財気が巡る時期は？
相気が巡る時期は？
剋気が巡る時期は？

自然としての陰陽

自然としての陰陽とは
夜と**昼**そして**冬**と**夏**（冬至と夏至）といった**両極を認識**することでした。

まだカレンダーも天気予報もなかった太古の時代‥

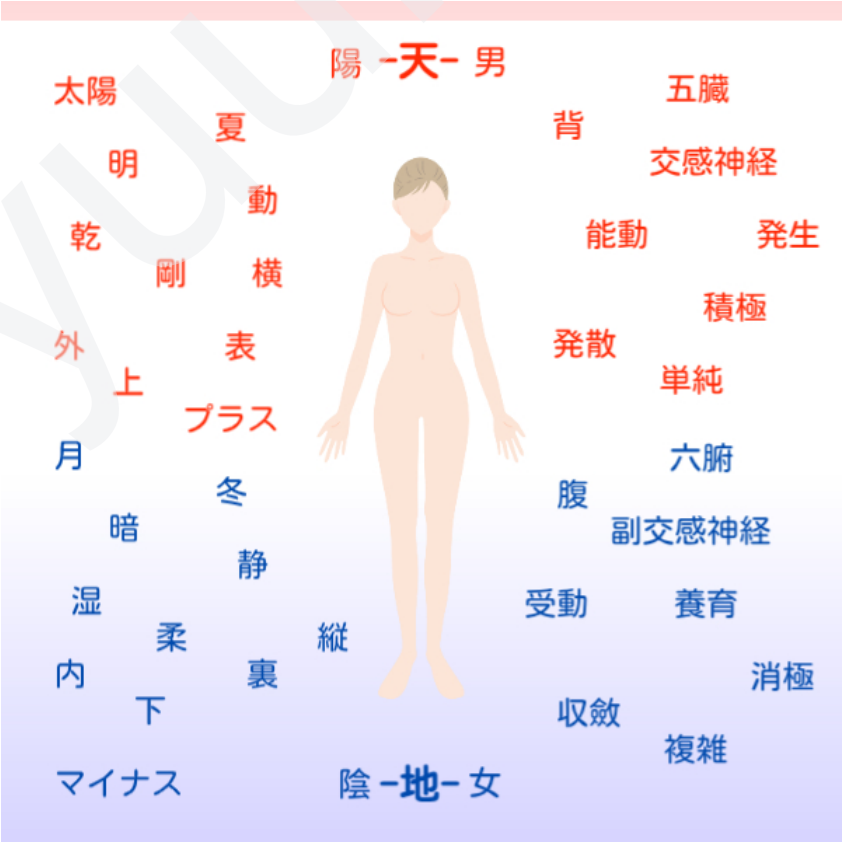
人々は冬に草木が枯れ果てると「世界が終わる」と感じ
地平線に太陽が沈むと「もう上がってこないんじゃないか」と不安に感じました。

太古の人々にとって、日々変わる自然現象は、
恵みであると同時にとても怖いものだったのです。

ですが、暮れてもまた朝が訪れる様子や、
枯れ果てた大地にも、また草木が生い茂る様子から、

「陰陽」という概念を生み、**全ては巡る**ということ、そして**盛衰**を悟ったのです。

陰陽とはすべての大元



yuukidou

五行は自然の法則･･･五行の成り立ち

五行は、太古の人が見いだした**自然の法則**です。

五行と季節

「**冬**」に枯れ果てた大地も、
「**春**」にはまた芽吹きはじめます。
そして
「**夏**」には生い茂り、
「**秋**」には衰退していきます。

陰陽が表す「**冬至**」と「**夏至**」
それに昼夜がほぼ同じ長さの「**春分**」と「**秋分**」を加え、

春・夏・秋・冬という**四季の概念**が生まれました。

五行と方角

日が昇る方位を「**東**」
日が一番高い方位を「**南**」
日が沈む方位を「**西**」
日が一番低い方位を「**北**」として

四方（方角）の概念が生まれました。

五行と時間

日が昇る「**朝**」
日が一番高い「**昼**」
日が沈む「**夕**」
日が一番低い「**夜**」

消えた太陽がまた昇り、沈んでいく日々の様子から
四時（時間）の概念が生まれました。

yuukidou

五行の完成

「木」
春、朝、東は、**太陽が昇り進むところ**です。
自然界の中で、上へ上へと昇り進むもの･･･**これを「木」**

「火」
夏、昼、南は、**メラメラ太陽が盛んなところ**です。
自然界の中で、メラメラと燃えるもの･･･**これを「火」**

「金」
秋・西・夕は、**太陽が沈んでいくところ**です。
太陽が沈むように頭を垂れる稲穂、それが黄金色に輝く様子から「金」

「水」
冬・北・夜は、**太陽が落ちて暗くなるところ**です。
自然界の中で、下へ下へと落ちるもの･･･**これを「水」**

「土」
中央を「土」、季節と時間では「土用」とし、
五行が完成したのです。

「土」･･･中央ってどこ？

“中央”とは、自分が居るこの場所･･･君主のいる場所という意味です。

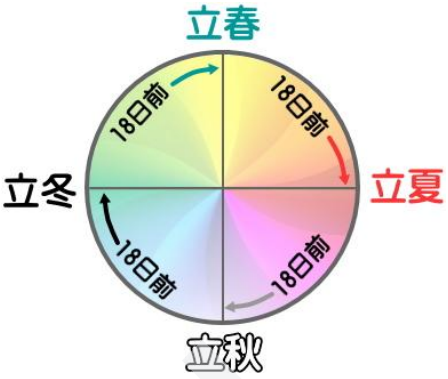
「中国」という国名は、本来この「中央の国」という意味で、
五行が発展・成立した、長江・黄河の中下流域あたりです。

五行は、**自分を取り巻く自然と、その影響を説いたもの**で、
それは日本などの
「四季の変化がはっきりしている地域」に限られます。

「気候風土が人を育む」といわれますが、これは本当にその通りで、
砂漠には砂漠の思想、常夏には常夏の思想があります。

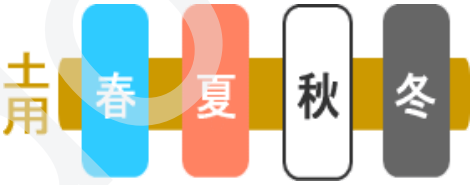
yuukidou

土用とは？



「土」は、季節では四季の変わり目をあらわし
それを**土用-どよう-**と呼びます。

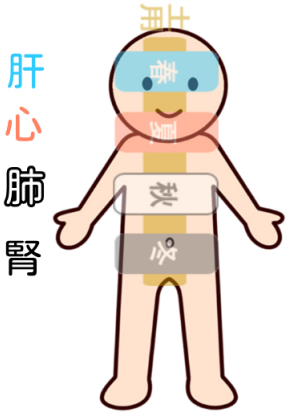
世間では「土用の丑の日」といって、
鰻を食べることが有名ですが、
土用とは**四季の変わり目**のことです。
四立といわれる「立春・立夏・立秋・立冬」までの
１８日間が「土用」の期間です。



正確には、季節の変わり目というより、
中心に安定した土があり、
それぞれの季節が順に旺じ（強まり）ます。

時間においても、
朝・昼・夕・夜の間は土が支配します。

この図を**９０度くるりんぱすると体に対応**します。



「土」は体の中心⇒口～肛門までの一本の管
そして体の真ん中「お腹」を表します。

臓器には「月-にくづき」がついていますが
「月」に「土」と書いて**「肚-はら」**と読みます。

季節の変わり目に体調を崩しやすい人は
必ずこの「土」が乱れています。

気温や湿度、日照時間など…自然は常に変化しますが
基礎である**「土」が良好であればブレない**のです。

心と体は一つなので、そういう人はもちろん心もブレません。

yukidou

【水】の人ってどんな人？

キーワードは「神か虫けら」
英語では「sense-感覚や感性-」

季節では**「冬」**
時では**「夜」**
方角では**「北」**

太陽が隠れる**「終わりの時」**をあらわします。

「水」の「終わりの時」は
植物に例えると**「枯れる・休眠の時」**
人の人生に例えると**「老年期～死」**

水は**“常に流れる水”と例えられる**ように、**柔軟で臨機応変**さが特徴で、
これまでの慣習や常識、型に囚われず**自由な発想・行動**が得意です。
「心（頭）と体」が柔らかいのが特徴ですが、
反面、流されやすく定まりがないため、生活や心も**不安定**になりがちです。

太陽が沈み一日が終わるように・・,、草木が枯れ１年が終わるように・・
働きの基本は**「終わること・変えること」**で、
「変化・破壊・混乱・革新・適応力・順応力」などを表します。

“終わりの時”ということから、なにか問題が起こった時**「いったん白紙に戻す」**
「一回ゼロにする」という極端な面もあります。

●五志は**「恐」**

心と体が「真冬の北国の夜」ですので、内面は「寒い・怖い・暗い」‥
感情の基本は「怖い」です。なので普段はどんなに明るく前向きな人でも、
根っ子はネガティブで恐怖感・絶望感を強くもつ傾向があります。
何かしら必要以上に怖がったり音などにも驚きやすく、また何かに直面したときの
口ぐせ・思いぐせは「怖い、怖い、怖い」です。

「恐」は恐怖と同時に**「畏怖の念」「畏敬の念」**でもあります。

yukidou

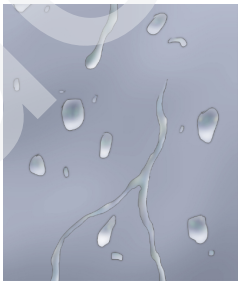
●五常は**「智」**･･･人知を超えた知恵

基本、理屈は何もわかっていませんが、そのかわり**超常的で勘も鋭く**、
英語では「sense」のように**感覚や感性、霊感**の強い人が多いです。

「神か虫けら」とは、**水の人は言動に「意味がない」**ので、人間性が良ければ
まるで**神様**のような人ですが、人間性が悪ければ意味もなく行動する**虫けら**です。
また、水は「〇〇と天才は紙一重」など両極端な人が多いです。

混乱した中や不規則な環境で大いに力を発揮し、良い場合はつまらない常識や
先入観にとらわれない**“清濁併せ呑む器の大きな人”**ですが、
悪い場合は**“常識のない滅茶苦茶”**な人です。
不安定なゆえ、怖さゆえ、石橋を叩き**慎重**になる場合もあります。

火は「なんでなんで病」でしたが、対して水は「なんでって無い」･･･
言動に意味や理由はあまりありません。



雨粒が窓をつたうのに意味がないように、
その時たまたまそうだったからです。

その**時々に適応**しやすく**考えも柔軟**ですが、
反面、なぜ「そうしたのか・そう思ったのか」
自分の気持ちや言動もよく分かっていない場合もあります。

●五臓は**「腎」**

腎とは現代医学でいう「腎臓」だけではなく、膀胱、子宮、卵巣、精巣など、
下腹部全体の臓器や、**下半身の働き**を意味します。
また「腎は耳に開く」とされ、耳がいい人も多く（聴覚とは限らず音感やリズム感の場合も）逆に乱れると耳に症状が出やすいです。

腎が乱れると

下半身の浮腫、冷え、頻尿、月経不順、精力減退など泌尿器系、生殖器系の疾患になりやすく、耳鳴り・めまいなど耳鼻科系の疾患にも注意が必要です。
また、「水」は「火」を剋すので、火の循環器系疾患などにも注意が必要です。

｜十干の「陰陽」の違い

あくまでも**十干の働きの「イメージ」**なので、連想ゲームはしないで下さいね。

・甲は竹･･･「十干の中で一番勢いがある」

春・朝・東など**太陽が「昇り進む」**働きなので
屋根でも突き破る竹のように真っ直ぐな生き方、考え方、言動となります。
迂回したり、工夫するなどは苦手で猪突猛進なところがあります。
よく言えば純粋、純朴、悪く言えば知恵がないとも。

・乙はツタ

同じ**太陽が「昇り進む」働き**でも、そこに**陰の働き**があるので、
障害物があれば避けたり遠回りしたり工夫したりと柔軟です。
甲のように突き進めない分、あの手この手で進むので
「しつこい」「しぶとい」悪い場合は「ずるい」など。

強い日差しや雨に弱いように、甲より**神経の細さや繊細さ**があります。
「木」は思春期ですが、甲は中二の男子、乙は中二の女子のイメージです。

※木に限らずどの五行も、**陽より陰の方が知恵が働く**（悪い場合は悪知恵も）

・丙は太陽

太陽は人に頼まれた訳でも誰かの為でもなく、
自身が勝手に燃えているわけですから、
良いも悪いも自分次第、悪く言えば自業自得であることも多いです。

また、惑星が太陽を中心に周るように、家庭なり会社なり丙が１人居れば
丙の人を中心に物事が周るので、**丙の人間性が吉凶を決める**とも言えます。
空に太陽は一つでいいので孤独な人が多く、たとえ周りに人が多くても精神的に孤独を感じやすい傾向があります。

yuukidou

◆相気と漏気の上タイプ

⇒価値観や生き方が**理想的で精神的**です。

スポーツ・芸術・音楽・技術・学術・研究・職人・専門家
･･･そのほか、
自分の好きなことや納得することに関わって生きたいタイプで、
地に足をつけるといった、**堅実で地道な暮らしには不向き**です。

会社員や公務員、そして「フツー」に結婚をして子供を生んで･･
そのような**「フツー」**の暮らしの中では、**生きにくい傾向**があります。

そのかわり何かしらの**プロ**となると**上タイプ**が多く、**生活のこと**など
「フツー」にベクトルが向かない分、**なにかに特出**する人が多いです。

女性も男性も、妻や夫・母親や父親といった役割には向きません。
そこを受け入れ割り切れば、自分らしい幸せな人生となりますが、
無理に「フツー」を求めたり「周りのみんな･･」と比べたりすると、
うまく行かなくなります。

様々な悩みも、**自分の気持ちによる問題**が主なので、安定を求めるのであれば、お金や生活など、現実的なことを意識することが肝心です。

◆剋気と財気の下タイプ

⇒価値観や生き方が**現実的で物質的**です。

下タイプは例えば「やりがいや生きがい」と悩むより、お給料がいいとか
安定している、生活のために･･など、**現実的**なことを優先します。

様々な悩みも、お金のことや子供のことなど**家庭・生活の中でのこと**が主で、
堅実にお勤めをし、「普通」の生活を営みますので、だいたいは大きな波乱のない安定した人生を送ります。

ただほとんどの場合、特別な才能はなく（あったとしても生活を優先する）
安定とは言い換えれば**刺激のなさ**にもなり、凡庸な人生にもなりがちです。

そのため、実生活の中で**楽しみや喜びを見いだせない場合**は、人生に退屈して
不倫などに刺激を求めてしまう傾向もあります。

漏気の働き

漏気は**「我が身から漏れる」**という働きが基本で、**自己表現**や**自己欲求**、**自己満足**などを表します。

漏気は**「〇〇い」**が基本で
「〇〇したい」「〇〇になりたい」
「〇〇して欲しい」
「〇〇になってほしい」･･･などなど
我が身の**“欲求・願望・理想・憧れ”**を
ストレートに表す働きです。

「もっと綺麗になりたい」と
ダイエットや美容に精を出したり

「もっと自分を高めたい」と習い事に勤しんだり「もっと上手になりたい」
「もっと凄くなりたい」など我が身の願望・欲求・理想を素直に出すので
良い場合には大きな**「自己実現能力」**となります。

漏気の**「〇〇い」**は自分だけでなく人に対してもそうで、例えば母親に対して**自分の理想像**を強く求めたり、子供に対して夫に対して･･など、**「こうあってほしい」**という**自分の理想**を求めることもよくあります。

漏気が良好であれば、言うべき時に言うべき事が言える、するべき時にするべき事が行えるなど**言動が明らか**で、それが我が身の願望を叶える力となります。

ただ、我が身の欲求が出るわけですから、それが「食べたい」とか「楽をしたい」なら、ただただ不摂生で楽をするだけの人生にもなりますし、「寝ていたい」が勝って寝坊ばかりするなど･･**欲求次第ではだらしない人生**にもなりかねません。

後述の「相気」と同じく**「漏気」は「上タイプ」**なので、堅実で地道な生き方には向きません。基本は**「好きなことをして生きたいタイプ」**なので、自分が「楽しい」とか「好き」とか「ラク」など、まずは**自分が一番**で生きるタイプです。

自分のポジションや金銭面などでも、まずは**自分が得**になるように動くのが得意で、これは別に悪い意味ではなく、誰といれば幸せか･･どうすれば楽しいか･･など、**自分の幸せに素直で屈託のない人**に多く見られます。

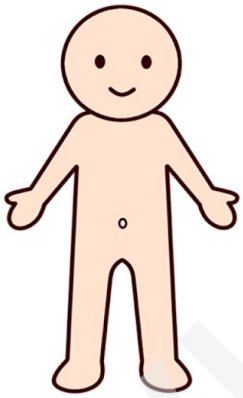
ただ、**悪い場合は自分本位**で人の痛みが分からない、汗水たらして努力するのが苦手、根拠のない自信‥など、軽薄で強欲な人にもなり得ます。

また、漏気の表現は、あくまでも**自己発信で一方的**なもので、過ぎれば強い自己顕示欲ともなります。人のお金で生活をするような事になったり、ひどい場合は欲にかられて衝動的に犯罪を犯すようなことにもなりかねません。

気が漏れているわけですから、一聞けば十喋るタイプで**良い意味ではアピール上手・魅せ方上手**ですが、それなりのモノがないと、**口だけの軽い人**にもなります。

「漏気」の自己欲求や自己満足は、出せるだけの才能や知識・技術がないと、**欲求不満となり焦燥感や衝動的**な言動としてあらわれます。

これら吉凶を考えると、**漏気の強い人は出せるだけの知識や技術、人柄を高めるように**心がけてください。そうすれば人気運も後押しして、いつも周りに人が集まってくるような、楽しく魅力的な人となります。



我が身から漏らす・出す

「〇〇い」・欲求・理想・願望・憧れ・give・求める
・与える・煩悩・生理現象・幼児期・依頼心
・我が身が一番・享楽的・好きなことをしたい
・自分が楽しい・自分がラク・自分が得
・男は〇〇チン・行動力・自己実現・表現力・アピール
・人気運・カリスマ〇〇・クリエイティブ・教える・伝える・話す
・見せる・魅せる・写真写りがいい・見掛け倒し・一を十に見せる
・一聞けば十喋る・自己顕示欲・more more・焦燥感・一方的
・おせっかい・深く考えない・追いかける・こなす・進める
・世が世ならお公家様

yukidou

世間の占いでは、「偏りがなくバランスが良いのが運勢の良さ」と言われたりしていますが、それは少し違います。

五行の偏りとは、一言で言えば**「個性」**です。
たしかに**偏りが強いほど苦手なことが多い**ですが、そのかわり凡人にはない突出した才能をもっているものです。

反対に偏りのない人は、何ごとも平均的で平凡でもあります。
悪い場合は「つまらない人生」にもなりますので、どちらが良いか‥どちらが幸せかは決して計れないのです。

｜かんたん開運法

「五行の偏りは個性」とはいえ実際の生活では「苦手」だから「あーそうですか」と簡単にやめてしまう訳にもいきませんよね。

例えば商売運をあらわす**「財気」がない**のに、商売をしざるを得ない場合や
夫運・家庭運をあらわす**「剋気」がない**けど、普通の結婚生活を送りたい..など

ないところ・弱いところは**苦手なことや不向きなこと**をあらわすので
それを**補うには「五行の特徴」を取り入れる**のが開運法です。

<例>

左図の人が**「財気が欲しい」**場合
４１ページにある**「財気」の働き**を
意識することはもちろんですが

８ページの**土の働きが開運のポイント**です。

土は**「動かない・変わらない」**なので
・**ルーティンワーク**を心がける
・動く前に一度止まって**思慮**する
・最低１０年を目標に**長く続ける**
　そのほか

生活に動かない・変わらないを取り入れる

yukidou

社会の定位と五行象

社会の定位は「社会運」で人生観や適職ですが、おもに**適職**がよくわかります。
「親の定位」と同様に、基本にはそれぞれ３７ページからの「五行象」の働きがあると考えます。

●我が身と同じ五行の適職

職場や社会において、どうしても我を通してしまうので、基本はお勤めには向きません。お勤めに向く「剋気」の**自分を抑える働きより、自分の想い・考えが勝る**からです。また、我が身は財気を剋しますので、これも**客のニーズより自分の考え、収入の有無より自分の想い**‥などとなり、基本はサービス業やお金儲けにも向きません。

仕事では、**我を通すことが必要とされる職業**や、**自分がトップ、ボスとなれる立場**が向きます。（具体的な職業は、全体のバランスや他の五行象の有無なども関係しますので、一概に言えません。）

●漏気の場合の適職

“表現する”“自分から生みだす”というのが基本ですので、例えば、〇〇インストラクターや〇〇講師など、**人前で話したり、伝えたり、教えたりする仕事**や、デザイナーなどのクリエイティブな仕事に向いています。

そのほか、役者・歌手・デザイナー・モデル・アナウンサーなど、**表現・発信する仕事**には不可欠で、アピールが上手なので**人気商売**にも向いています。

ただ、発信や表現するだけの才能や技術、知識といった、**根拠がない場合**は、「上タイプ」ですから、**理想ばかりが高く浮ついた人生**にもなります。
基本は「自分が好きでしている」ことが大切です。

●財気の場合の適職

社会の中で**「生活する」「食べていく」**ことが財気の一番の働きなので、基本は何をしても食べていけますし、生活力があります。
コミュ力も含め、一般的な職業のほとんどに適性があると言えるでしょう。

陰陽から相性を知る

さて、「相性」にはまず**陰陽の相性**があります。
陰か陽かという簡単なものですが、一番根っこの部分・肌感として
相性を判断するのにとても役立ちます。

⇒**「配偶者の定位」が「陽」の場合**
　我が身が「陽」の相手を好み、それが相性のよい相手です。

⇒**「配偶者の定位」が「陰」の場合**
　我が身が「陰」の相手を好み、それが相性のよい相手です。

これは男女ともに言えることで、**陰陽の働き**が根っこにあります。

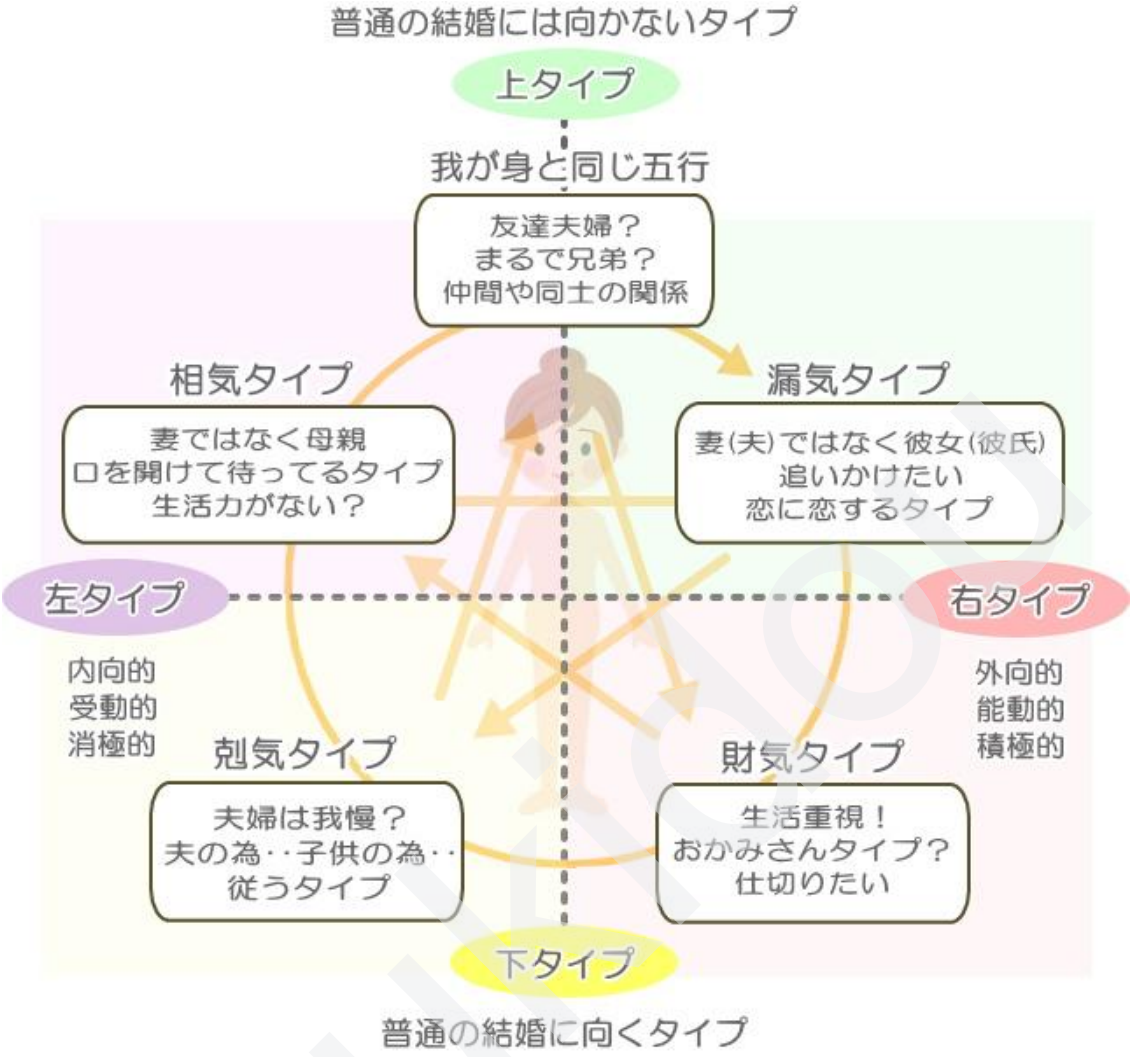
配偶者の定位が「陽」の人は、積極的でカラッと乾いた性格の人を好み、
配偶者の定位が「陰」の人は、受け身でしっとりとした人を好みます。

<実際の相手の「陰陽」が違う場合>

⇒**「陰」を好むのに相手が「陽」**なら
やたら暑苦しく感じたり、ガサツに思えたり、色気を感じない、女らしくない‥
など、**「陽」の特徴を不快に**感じてしまいます。

⇒**「陽」を好むのに相手が「陰」**なら
陰気に感じたり、ネソネソしてる、ジメジメしてる、男らしくない‥など、
「陰」の特徴を不快に感じてしまうのです。

yukidou



配偶者の定位が「我が身と同じ五行」

兄弟や友達といった**対等な関係**を好みます。
実際に幼馴染や同級生、サークル仲間などにも多く、また、収入も変わらないなど「女だから男だから‥」といった区別を持ちません。

女性の場合はバリバリ働くなど「男性に食べさせてもらおう」と考えない自立した人が多いですが、逆に女性的な従順さや受身的な部分はあまりないでしょう。

男性の場合も対等なだけに、女性として扱ってくれない傾向もあります。お互い言いたいことを言い合うような関係を好みます。